

# 全小理ホームページへようこそ

全国小学校理科研究協議会

(葛飾区立細田小学校長)

会長 森内 昌也

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対応が続く令和2年7月26日(日)、全国小学校理科研究協議会(全小理)は、国より示されている感染症防止のガイドラインを順守し、開催会場から感染者を出さないとの決意をもって、令和2年度第1回理事会を内田洋行新川本社にて開催しました。理事会の様子は、この後に行いました文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 鳴川哲也先生のご講演と共に、オンラインにて中継させていただきました。この場にて、全小理理事の皆様のご承認を受け、昨年度に引き続き会長の職を務めさせていただくことになりました。職責の重さを忘れることなく取り組んでまいります。新役員一同、今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

小学校において令和2年度は、新学習指導要領の全面実施の年です。本会もこの時のために、時間をかけて用意周到に準備をしてきました。しかし、感染症の拡大により、状況が一変しました。国内の地域によっては、新しい学びの主役となる子供のいない学校で、理科教育の新たな出発の年を迎えることになってしまいました。

全小理は、小学校理科において、学習指導要領の理念と内容とを、理科授業を通して具現化していく研究団体です。全国都道府県の本会会員が、お互いに研究実践を共有し、新学習指導要領の定着に務めていかななくてはなりません。感染症により研究活動が停滞することは、本意ではありません。全小理に関わってこられた全ての方々が苦勞の末に灯された「理科研究の灯」を絶やさず、皆様の全小理への思いに応じて研究活動を行ってまいります。

第53回全小理福岡大会は誌上発表会になりましたが、全小理の研究は継続しています。福岡県の全小理会員は大会事務局を中心に、例年以上の内容を誇る大会紀要にするために、厳しい状況下でも研究を続けています。コロナ禍を乗り越え、研究の質を落とすことなく、研究実践活動を再構築していくことが全小理の今後の課題になります。

国の「GIGAスクール構想」の必要性を、私達は痛感しました。全小理は、感染症の予防  
対応と合わせて、子供の学びを持続させて資質・能力の育成に取り組み、令和の時代の小学校  
理科教育を推進してまいります。

文部科学省、全国都道府県教育委員会、各区市町村教育委員会、日本理科教育振興協会の皆  
様には、変わらぬご支援、ご助言を賜りますようよろしくお願い申し上げます。